



【1. 重大事故等情報＝5件】（1月6日～1月12日分）

(1) 乗合バスの酒気帯び運転（疑い）

1月10日（火）午前9時22分頃、静岡県において、同県に営業所を置く乗合バスが運行を終了した際、営業所に戻った運転者に対しアルコール検知器による検査を行ったところ、アルコール反応（0.285mg/l）があった。

当該運転者は、午前7時頃に車庫から出庫しており、その際の電話点呼による検査ではアルコール反応はなかった。

その後、当該事業者の運行管理者が出庫時に使用したアルコール検知器を確認したところ、正常に動作する状態になかった模様。

なお、当該運転者は帰庫時にアルコール反応が出るまでの間に2運行に乗務していた。

(2) 乗合バスの車内事故

1月12日（木）午後4時37分頃、石川県の県道において、同県に営業所を置く乗合バスが運行中、バス停において乗降客扱い後発車した際、座席に座ろうとしていた乗客が発車の振動により車内手すりに太ももを打ち付けた。

この事故により、当該乗客が重傷を負った。

(3) 法人タクシーの転落事故

1月8日（日）午後6時30分頃、栃木県の市道において、同県に営業所を置く法人タクシーが乗客2名を乗せ運行中、道路左側の空き地に転落（落差約65cm）した。この事故による負傷者はなし。

タクシーが乗客を降車させるため停車しようとした際、運転者からは道路と空き地が地続きで平坦に見えたため、車両を左に寄せたところ転落した模様。

(4) 大型トラックの衝突事故

1月9日（月）午後2時30分頃、群馬県の国道において、新潟県に営業所を置く大型トラックが運行中、センターラインを越えて対向してきた軽自動車と衝突した。この事故により、軽自動車の運転者と同乗者が死亡し、当該大型トラック運転者が軽傷を負った。

(5) トラックの衝突事故

1月10日（火）午前9時40分頃、宮城県の国道において、同県に営業所を置くトラックが運行中、赤信号で停車中の同じく同県に営業所を置く別のトラックに追突した。

はずみで、追突されたトラックに積載されていたLPGタンク37本のうち12本が路上に散乱し、うち1本からLPGが漏洩した模様。

この事故により、双方のトラック運転者が軽傷を負った。

---







- ・トラクタ・タンクセミトレーラの横転事故（静岡県富士宮市）
- ・トラクタ・コンテナセミトレーラの転落事故（神奈川県足柄下郡箱根町）

※詳細については、下記リンク先をご覧ください。

→ [http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha02\\_hh\\_000279.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha02_hh_000279.html)



**【メールマガジン「事業用自動車安全通信」】**

発行 国土交通省自動車局安全政策課

\* このメルマガについてのご意見は、< [jiko-antai@mlit.go.jp](mailto:jiko-antai@mlit.go.jp) >までお寄せください。

よくある質問（配信登録の解除方法等）

（ <http://www.mlit.go.jp/jidosha/enzen/enzenplan2009/faq.html> ）

\* ご登録されたメールアドレスの変更は、配信登録を解除していただき、新たに配信登録をお願いします。

配信登録を解除する場合は、以下のアドレスで登録解除することができます。

（ <http://www.mlit.go.jp/jidosha/enzen/enzenplan2009/stop.html> ）

**【参考】**

\* 自動車局ホームページ

（ <http://www.mlit.go.jp/jidosha/index.html> ）

\* 自動車の不具合情報はこちら

最近、自動車に乗っていたら異常発生、なんてことはありませんでしたか。そんな時は、車検証を用意して、国土交通省「自動車不具合情報ホットライン」に連絡です。皆様の声は、車種ごとに、ホームページ上で公開され、メーカーがきちんとリコールをしたり、メーカーのリコール隠しを防ぐために活用されます。

・ホームページ受付 （ [www.mlit.go.jp/RJ/](http://www.mlit.go.jp/RJ/) ）

・フリーダイヤル受付 0120-744-960

（平日9:30～12:00 13:00～17:30）

・自動音声受付 03-3580-4434（年中無休・24時間）

\* 自動車のリコール等の通知等があったときは！

使用されている自動車について、自動車ディーラーなどから、リコール又は改善対策の通知が送付されたり、その対象であることが新聞等で公表されたときは、安全・環境への影響から、その自動車の修理を行うことが必要になったということです。道路運送車両法により、自動車ユーザーは、自分の自動車が保安基準に適合するよう点検・整備する義務がありますので、忘れずに修理を受けましょう。

